



小・中学校との連携事業	p. 1
お知らせ / 講演会・展示 / おはなし会	p. 2 ~ 3
としょかん 豆知識 < デイジー? >	p. 4
@ Libミニブックリスト(14) 「新社会人の基礎知識」	p. 4
ホームページ http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/library/	2009年3月号

小・中学校との連携事業

～ヨコハマの子どもたちの読書習慣形成のために～

平日の午前中の図書館で、40人前後の小学生が図書館の司書に引率されて歩いていた、児童コーナーの本を思い思いに選んで読んでいたりする光景をご覧になったことがあるでしょうか。

これは、市立図書館が行なっている学校との連携事業のひとつ「図書館見学」のひとつコマです。

市立図書館では、子どもたちと本を結ぶ児童サービスを展開するために、小・中学校と協力して連携事業を全館で実施しています。普段、あまり知らなかった機会のないこれらの事業についてご紹介します。

図書館見学の受入れ

学校からクラス単位・学年単位などで、図書館見学を受け入れています。

図書館の利用案内はもちろん、本の上質な探し方の説明や読書への誘いとして、おはなし会やブックトーク(本の紹介)を行ない、その場で本の貸出をすることもあります。



職業体験の受入れ



から探してきたり、テーマ展示の企画をを考えてもらうなど、さ

中学校では、いろいろな仕事を体験する職業体験学習があり、図書館では司書の仕事を体験してもらっています。

カウンターでの貸出・返却作業を始め、予約された本を棚

さまざまな仕事を楽しみながら体験してもらう工夫をしています。



調べ学習の支援

百科事典や辞書、図鑑などを使いこなせると調べ学習が楽しくなります。調べ学習に取り組む前に知っておくと良い事柄について、司書が説明をしたり、あるテーマに関連した資料をあらかじめ集めておき、紹介したりします。

教職員向け貸出制度

学校の授業等で図書館の資料を活用してもらうため、市立学校の教職員の方を対象に、40冊まで、最長1か月の特別貸出を行なっています。国語科や社会科に関連した内容で、よく利用されています。

学校図書館ボランティアの支援など…

司書が学校へ出向き、子どもたちにおはなし会やブックトークをして、読書のきっかけ作りをしたり、教職員や学校ボランティアの方に向けて、読み聞かせの仕方などの研修を行なうこともあります。学校図書館の整備にボランティアの方が関わることが増え、学校図書館についてご相談を受ける件数も増えてきています。



平成19年度の1年間に、図書館見学や調べ学習などで、市立図書館にやってきた小学生・中学生は、約7,150人。図書館の仕事を体験してくれたのは、約250人です。今年度はさらに増えています。

また、教職員貸出制度で貸出した図書の伸びは大きく、平成19年度の8,731冊に対し、平成20年度は12月までで、12,000冊に上りました。